

第8回 ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

開催日時 : 令和7年9月29日(月) 19:00~20:30
会 場 : 南常盤台一丁目集会所
参 加 者 : 委員 16名
事 務 局 : 板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課 6名
事務局補助 : 株式会社日本インシーク 3名
傍 聴 者 : 8名

1. 開会

2. 会長あいさつ

〔会長〕

本日はお忙しい中、第8回ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会に参加いただき感謝申し上げます。第7回ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会では、マスタープラン基本構想案に対する意見の取りまとめを行い、マスタープランの策定に向け、テーマごとに検討を行う分科会を設置することに決定した。分科会は7月、8月の2回開催し、とても有意義で活発な意見交換ができたと思う。

今回は分科会で検討した内容を報告させていただき、協議会の成果となるよう皆様に検討を行う。短い時間ではあるが、皆様には忌憚のない意見を出し合っていたいただき、実りのある検討をしていただきたいと思う。よろしくお願い申し上げます。

3. 議事

議題

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第7回協議会の振り返り
- (3) 分科会の報告
- (4) ワークショップ：テーマ別のまちづくり方針の検討
- (5) 現場見学会の開催に向けて
- (6) その他

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第7回協議会の振り返り
- (3) 分科会の報告
- (4) ワークショップ：テーマ別のまちづくり方針の検討

＜(株)日本インシークより資料1、2について説明＞

【意見交換】

テーマ1：道路・交通

〔委員〕

- ・マスタープラン 20 頁に「北口駅前広場の右回りへの改良」とあるが、現状は左回りとなっており、関係のない車が駅とロータリーの間を通らずに迂回して通っていく。わざわざ右回りにして交通を乱す必要はないと思う。どのように通らせるのか。

〔株日本インシーク〕

- ・現状が普通と逆回りになっていて、タクシー等の乗り降りが逆になっていると伺った。

〔委員〕

- ・ロータリーの内側に車を停めるようになっている。それは考え方の一つであると思う。右回りにすると、北側から来た車が全て駅の前を通っていくことになる。駅前も狭いし、人の出入りも危ないのではないか。

〔事務局〕

- ・一般的な駅前ロータリーは大体右周りになっている。ときわ台はタクシーもバスも道路を渡って、ロータリーの中から乗らなければならない状況になっている。
- ・安全性を考えた場合に一つの案として右回りに改良した方が良いという意見が出て、マスタープランに掲載している。

〔委員〕

- ・駅の改札口を出てから幅が広ければそのやり方は合理的だと思うが、現状は2、3mしかない中で、右回りに変えるとは合理的ではないと思う。皆様はいかがか。

〔委員〕

- ・左側の作りになっているため、変える場合は道路の形まで変えることになる。

〔委員〕

- ・慣れていないと混乱を招く。

〔委員〕

- ・右回りにすると、上板橋の方から来た車が右折して駅前に入ってくることになる。右折する車がいた場合、踏切を渡ってきた車を止めなければならない。車が増えると、踏切の方まで車が続いてしまう。それはとても危険だと思う。どう考えているのか。たった一台の右折車のために大事故に繋がる可能性がある。

〔委 員〕

- ・補足すると、全部の車を右回りにするわけではない。現状は一般車も含めて全部の車両が入ってきている。右回りにする場合は、タクシーとバスのみを駅側に入れるという考えである。一般車は入れないのが大前提になる。車を止めるというリスクはある。現状、バスは左ドアであるから、この先に高齢者が増える中で、少しでも利便性が増すのであれば、駅舎から雨にも濡れない状態でバスに乗れた方がよいのではないかという話があり、右回りにする案が出てきた。交通動線を100%止める訳ではない。案としてマスタープランに書いてあるが、都市づくり分科会としては皆様から意見があれば、今まで通りでも構わない。たまたま、そのような考え方も一つあった方がよいという話で出てきた。

〔株日本インシーク〕

- ・それでは、分科会の方に持ち帰って、右回りに限定せずに表現を検討するってことでよろしいか。

<委員一同賛成>

〔委 員〕

- ・20 頁に「南口駅前広場の整備の検討」とあるが、話に出ていたか。

〔株日本インシーク〕

- ・協議会の頃から出ている意見である。まちづくりの機運に合わせて検討するという表現としている。マスタープランに書いてあるのは「整備の検討」であり、必ず整備を行うという意図ではない。

〔委 員〕

- ・18 頁に「北口の駅舎については、今後の在り方について検討をするよう関係機関に促します。」とあるが、間接的な表現になっている。駅舎はときわ台のシンボルであり、立体化されることによって維持できるかどうか。まちのシンボルなので、残さないといけない。
- ・田園調布駅の場合は、駅舎は残っているが飾りだけになっている。国立駅は、撤去した後に住民からどうなっているのかという話が出て、改札から離れたところに資料館のような形で残っている。
- ・東京駅をモデルとして、昔の姿を残したまま今の改札として活用する。技術的な話は分からないが、ときわ台のまちを象徴するシンボルであるから、マスタープランには「駅舎を残す」とはっきり記載してほしい。

〔事務局〕

- ・活用方法等も踏まえて「今後の在り方」という表現とした。

〔株日本インシーク〕

- ・それでは、駅舎については表現をもう少し踏み込むか、分科会で再度検討するということでよろしいか。

<委員一同賛成>

テーマ2：安心・安全

〔委 員〕

- ・ 22 頁に「消防施設の充実」「警察施設の充実」とあるが、具体的にはどのようなことをイメージしているのか。

〔株日本インシーク〕

- ・ 消防施設も警察施設も、今は具体的なものではなく、まちに必要という意見を反映しているものになる。

〔委 員〕

- ・ 出張所が無くなったら、どのように充実させるのか。

〔事務局〕

- ・ 昨年から協議会の中で、消防施設や警察施設をもっと充実させたいという意見があったため、それを表現している。具体的な場所に消防施設が欲しいという話ではない。

〔株日本インシーク〕

- ・ 皆様の想いとして消すことはできないので、このような表現で残してある。

〔委 員〕

- ・ まちの消火器を増やすなど、そのようなイメージなのか。

〔事務局〕

- ・ 上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会の分科会では、消火器を皆様の自宅やその周辺に設置して、いざという時にそれを活用するという話が出ていた。イメージとしてはそのようなことが出てくると思う。

〔株日本インシーク〕

- ・ 表現を「施設」と記載せずに、「設備」に抑えるという方法もあると思う。

〔委 員〕

- ・ パトロールの回数を増やす方法もある。

〔委 員〕

- ・ 交番を減らしてパトロール回数を増やすことはよくやっている。

〔委 員〕

- ・ 防犯カメラは重要である。犯罪の抑止効果もあり、捜査でも使われる。もっと増やしてほしい。防犯カメラがあることによって、犯罪が減る。ただし、防犯カメラは6年でダメになる。定期的に更新する必要がある。

〔委 員〕

- ・ 防犯カメラの説明会に行ったが、商店街と町会が合同でやると助成金が出る。今後も連携してやっていく。

〔委 員〕

- ・ 警察や消防は緊急性が必要になってくると思う。防犯カメラは設置すれば良いが、消火器は一般の方はすぐに使えるか。なかなか使えないと思う。火事の際に、一般の方が消火器を持って駆けつけるのは厳しいと思う。出張所があると、火事の際にすぐに消防士が駆けつけてくれる。出張所がなくなる不安材料はある。

〔委 員〕

- ・頻繁に訓練をやっているから、使えると思う。

〔委 員〕

- ・高齢者の方は使えないと思う。やはり、消防士や消防団がすぐ駆けつけられるようにした方が良くと思う。

〔委 員〕

- ・まずは、自分たちから守ることが先決である。私も商店街で防災マニュアルを作っている。

〔委 員〕

- ・私も消防団に入っていて、体験をしてもらうなどの色々な活動をしているが、消火器は使いづらい、重いから使えないという意見が多い。

〔委 員〕

- ・所長がマメで町会に消火器の使い方を頻繁に教えに来てくれる。

〔委 員〕

- ・火事に関しては、ＩＴやＡＩを使った自動感知器みたいなものを使う試みをしているところがある。そのようなものを設置する案が一つある。
- ・防災に関する連絡網みたいなものや、火事を見つけた人が早く連絡する方法などがあると良い。

〔株日本インシーク〕

- ・消防について、設備、機能、体制等の色々な話が挙がった。現状のマスタープランは具体性がないため、何ができるのか、何をしたいのかを今後の分科会で掘り下げて検討するということによろしいか。

＜委員一同賛成＞

〔委 員〕

- ・地震対策は入れ込まなくて良いのか。

〔委 員〕

- ・警察、消防だけではなく、地震もいつ来るか分からないため、キーポイントになってくと思う。そこが安心安全に住むうえで、重要なポイントであると思う。

〔株日本インシーク〕

- ・では、その地震の視点も含めて、防災と防犯の部分の内容を検討していく。

〔委 員〕

- ・町会員さんが消火器の設置場所を知らないため、そこを分科会で掘り下げて話をしていただきたい。区役所が消火器を設置しても、消火器の設置場所をほとんどの町会員が知らない。そのあたりの周知徹底の仕方を考えていただきたい。

〔委 員〕

- ・町会が子供会の時に、クイズ形式で「うちの町会の中に消火器はいくつありますか」という問題を出した。また、町会員名簿の最後のページに、消火器の置いてある場所を記載した。工夫すれば、ある程度周知できると思う。

〔委 員〕

- ・ 23 頁に「学校の空き教室を活用した保育・学童施設等」とあるが、ときわ台小学校の隣で、以前に図書館があったところが、今は廃墟みたいになっている。あの施設を活用するという話はないのか。

〔株日本インシーク〕

- ・ 跡地は別で話が進んでいると思う。

〔委 員〕

- ・ このまちづくりには関係ないのか。

〔事務局〕

- ・ 旧図書館の跡地活用については、区の別部署が担当している。色々な方々から意見を伺いながら進めており、必要なときに皆様に説明する機会を設けている。今年の 3 月に説明会も開催している。

〔委 員〕

- ・ 廃墟みたいになっていて、そのまま放っておくのは考えられない。

〔株日本インシーク〕

- ・ 非常に重要なテーマであるため、別で動いているのだと思う。

〔委 員〕

- ・ 長く住んでいる方は良いが、東京は入れ替わりが多い。新しい方が来た時に地域の安心・安全の講習等について、どのように周知を図るのか。

〔委 員〕

- ・ 子どもの見守り隊や、ピーポー110 番のステッカーを店舗に貼って見えるようにしている。店舗をやっていると新しい方が来たら分かるので、その時に相談されれば説明できる。一般住宅の中にもピーポー110 番や駆け込み寺のようなステッカーが貼ってあるが、実際に何か起きたときにその家に飛び込めるかは難しい。だから今はコンビニにもステッカーは貼ってある。しかし、チェーン店が説明するのはなかなか難しいと思う。

〔株日本インシーク〕

- ・ そういった次の人たちに繋いでいく周知の方法も分科会で検討していく。

〔委 員〕

- ・ 新しい人は新しくできたマンションに来る。防災のことを考えると、マンションは消化設備が整っている。マンションと町会のコラボや、子ども達を巻き込んだイベントも考えられる。

〔委 員〕

- ・ 東京都から助成金で今年 11 月 30 日までに防災用品備蓄を 30 万円分無償で購入できるという案内がきている。ただ、倉庫がない。備蓄するのに、一般の方にはなかなかお願いできない。

テーマ3：商業・にぎわい

〔委員〕

- ・ときわ台に住んでいる方々は単身者が多く、なかなかその後のファミリー世帯が住みこまないという話が分科会であった。小さな単身者用住宅ばかりで、ファミリー世帯が住むところがない。ファミリー世帯が住みやすい、住めるサイズの住宅を重点的に作ってもらうことが必要だと思う。単身世帯住宅は単価が高く住んでもらえるため、なるべく細かく割ろうとするということもあると思うが、ファミリー世帯の住宅を作ることの誘導をまちとしてしっかりやる。
- ・小学校に上がるときまでに場所を決めると思う。東京都内でも魅力的な小学校がある。文京区は小学校を魅力的に整備し続けている。そういう場所にみんなが移っていつてしまう。板橋区は小学校の整備が進んでいないと思う。魅力的な小学校を作ると、そこに集まってくる流れができると思う。そこを盛り込みたい。

〔委員〕

- ・単身の方が増えるのは良いと思うが、長く住んでもらえるかは違う話だと思っている。ずっと住むところは、そのまちが好きか、小学校が良いか、地域の大人が親切で良いという事が重要視される。ずっと住み続けてもらうためにどうするか、より詳しく具体的に今後の分科会で引き続き議論していく必要があると思う。

〔株日本インシーク〕

- ・ファミリー世帯を誘導するために住宅や小学校を魅力的にすることについて、どのテーマに入るのかも含めて、検討していく。

〔委員〕

- ・今の話はすごく重要で、色々なことを進める上で大命題になるような話だと思う。人が住み続けないと、人に来ていただかないと、お金も来ないし、電車も乗らなくなる。今の話を大きく捉えて、他のところにも反映して良いと思う。ときわ台は高いから若い人が来ないと言っていたが、高くても港区などは魅力的だから人が来る。そのような魅力的なエリアにするために話していると思う。今が良いから維持するのではなく、他からも皆さんが来るような魅力的なまちをつくるという気持ちでやっていきたい。

テーマ4：みどり・景観・住環境

〔委員〕

- ・お祭りが地域の一大イベントとなっていて、多くの出店で賑わうが、道路が狭く通れない。参道の整備など、南ときわ台のインフラを整備する。賑わいにも景観にも繋がる。

〔株日本インシーク〕

- ・参道は31頁に記載してある。18頁の方で、道路・交通のテーマとして方針2②「駅へのアクセス向上を図るため、駅南口の道路網の整備を検討します」と記載している。

〔委 員〕

- ・天祖神社の祭りだけではなく、その他の時も南口に来てもらえるまちづくりをしたい。

〔株日本インシーク〕

- ・27 頁にも「南口駅前の緑化等による潤いのある景観の形成」といった南口に関する表現もある。道路やイベントだけではなく、総合的にやっていくことが記載されているか、分科会で確認していただければと思う。

テーマ5：歴史・文化・芸術

〔委 員〕

- ・天祖神社の参道の整備は、区から補助金が出るのか。

〔株日本インシーク〕

- ・今この場ではわからない。

〔委 員〕

- ・角の1 軒を更地にして石碑建てると聞いた。神社の鳥居からコンビニエンスストアまでの鬱蒼としているところを整備したい。それによって南口も、北口の歴史パネルのようなものを設置して綺麗にすることで違法駐車をなくしたい。そうすることで、他からもお客さんが来ると思う。

〔事務局〕

- ・道路整備は、他自治体の例ではあるが、車も自転車も人も通れる道路を、歩行者だけの道路にするといった歩行者中心のまちづくりの意味で、道路を再整備する案件は色々ある。板橋区ではまだ事例はないが、例えば車道を狭めて歩道を広げる。ときわ台は全部が車道なので、その車道空間を人のための空間に思い切って転換し、参道をより魅力的にするプロジェクトができれば、区あるいは国や東京都の補助金が出てくるかもしれない。方向性はこれからだと思うが、そういうものはある。

(5) 現場見学会の開催に向けて

＜事務局より資料1、補足資料について説明＞

【質疑】

〔委 員〕

- ・下北沢駅の見学が10 時前となると、多分お店が開いていないと思う。

〔事務局〕

- ・お店を見るというわけではなく、歩行者専用道路や高架下の区間のお店、駅前を見ようと思っている。

〔委 員〕

- ・その見学会はマスタープランのテーマ1～5 までの全体の見学ということでいいか。

〔委 員〕

- ・その通りである。

〔委 員〕

- ・駅舎がどうなるかという意味では、田園調布駅と国立駅を追加したい。

〔事務局〕

- ・国立駅も検討したが、電車だと近いがバスで行くと距離がある。

〔委 員〕

- ・そこを見ないと駅舎の問題は認識できない。ときわ台のお祭りは、みんなロータリーで神輿担いで、みんな駅舎と一緒に盛り上がる。

〔委 員〕

- ・今回は上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会の方々も来るので、ときわ台だけではない。今回は全体を見る会である。
- ・武蔵境駅と石神井公園駅は両方とも高架になっている。それぞれ選んだ理由は何か。

〔事務局〕

- ・委員向けのアンケートの結果をもとに選定した。

〔委 員〕

- ・両方の駅の作りが変わらない。どちらか駅周辺の見学時間をもっと多くした方がよいのではないか。下北沢駅は見学時間が40分で、武蔵境駅と石神井公園駅は15分しかない。駅を絞ってどちらかを30分にした方がもっと見学時間を取れる。短時間で見て分かる人は少ないと思う。

〔委 員〕

- ・石神井公園駅は駅前に商店街があり、ときわ台に近い。

〔委 員〕

- ・今年5月に小田急の東北沢駅～下北沢駅～世田谷代田駅を歩き、小田急のまちづくりを担当した人に説明をしていただいた。そこでは地下化も立体化も両方見ることができる。私はすごく参考になった。距離の離れた3カ所を短い時間で見ると、一定の区間を歩いた方が、まちづくりの参考になると思う。

〔委 員〕

- ・当日は区や市の方に来てもらえるのか。

〔事務局〕

- ・今のところは想定していない。事務局と㈱日本インシークからまちづくりの概要等の説明をバスの中も含めて予定である。

〔委 員〕

- ・できれば現地の担当者の話を聞いてみたい。あるいは資料をもらえたら、このまちづくりの材料になると思う。自由に見るより、現場の人たちの苦悩や工夫した点を聞けると良い。

〔委 員〕

- ・その時は小田急の方に説明していただいた。世田谷区との話、住民の方との話し合い等について、資料をいただき説明してくれた。すごく参考になった。

〔委 員〕

- ・皆さん、せっかく時間を割いて参加すると思うので、しっかり実のある見学会にした方が、次の分科会の参考にもなるし、その街を歩いて肌で感じて方が間違いないと思う。

〔委 員〕

- ・なぜこの3駅を選んだか、抽象的な説明しかない。

〔事務局〕

- ・下北沢駅は、委員の方々へのアンケートや地域懇談会で良かったという話があったため、選定した。また、中央線が良いという意見があったため、武蔵境駅や国立駅等を見て、最新で古臭くない武蔵境駅を選んだ。

〔委 員〕

- ・上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会の方々からも意見があったのか。

〔事務局〕

- ・アンケートは取っているが、明日に上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会があるため、上板橋の方々がどのように思っているかはまだ分からない。

〔委 員〕

- ・日付は決まっているという話だったが、ルートを再検討する余地はあるのか。

〔事務局〕

- ・ルートはまだ変更可能である。
- ・下北沢駅周辺の見学時間は、世田谷代田駅から下北沢駅への移動等も考慮して40分設けている。
- ・武蔵境駅と石神井公園駅の見学をどちらか一つにすることや、東北沢駅から世田谷代田駅まで歩くことも、検討は可能であるが、足が悪い方や高齢の方もいるため、そこは考慮する必要があると思っている。
- ・自治体側からの説明は交渉次第である。日付が決まっているため、相手側と調整する。ただし、どこも出来上がっているまちであるため、当時の担当者からの話が聞けるか分からない。

〔委 員〕

- ・個人的には武蔵境駅を推す。最新の高架下の有効活用を見ることができる。西武線の高架下は、駐輪場や駐車場ばかりである。武蔵境駅は、若者を呼び込むマスタープランを作る上では参考になると思う。

〔事務局〕

- ・自治体の担当者から話が出来ない場合は、話を伺って資料を提供することは出来ると思う。

〔事務局〕

- ・上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会と合同で行うため、行程は、明日の上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会での意見を踏まえて、事務局で決めさせていただく方法でよろしいか。

<委員一同賛成>

〔委 員〕

- ・終わりが12:40 となっているが、中途半端になるのであれば、見学時間を増やして1時間遅くすることもあるのか。

〔事務局〕

- ・お昼の時間に差し掛かってもよろしければ可能である。

〔委 員〕

- ・来月の分科会で報告があるのか。

〔事務局〕

- ・分科会は、10 月は開催せず、11 月の現場見学会後に意見等を踏まえて開催しようと思っている。
- ・行程は、明日の上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会での意見を踏まえて、事務局で決めさせていただく。

4. 閉会